



ときのまど

時の窓

No.195

TOKI NO MADDO

2017/1/25

中部地連青年部長会議

組合活動を効果的にアピールしよう！！

中部地連は、昨年12月10日(土)～11日(日)に、福井県越前市において、中部地連青年部長会議を実施しました。中部地区各支部から、合計21名の外、青年協から、林事務局次長(北海道)及び笹川常任委員(中国)が参加し、有意義な会議となりました。

1日目には、会議(各支部からの報告、青年協からの講義・報告、分散会)を行いました。役員候補者への声掛けの際、「組合が何をしているか分からない」等の反応があり、また、その反応を受けて、役員選出に苦労しているという話を耳にします。そこで、今回は、役員候補の選出や組合活動のアピールをテーマとしました。



各支部からの報告では、青年層の絶対数が少なく、また、交通の便の悪い管内支部所属の方も

多いため、役員選出や定期大会の開催に苦労している等の報告が各支部からなされました。

青年協からの講義では、既存の物を有効活用し、組合活動をアピールできないか、ということで、新聞や交渉録等について、発行者や特徴、意義等を説明しました。新聞等の見方が分かった、回覧等する際には、重要な部分にマーカーを引く等、工夫したい等の感想を得られました。

また、分散会では、役員選出、組合活動のアピールの方法について議論を交わし、役員候補者に声を掛けるときは、必ず知っている人が含まれるように配慮する等の意見が出ました。

夜の懇親会では、分散会での班対抗で、早抜けクイズを行いました。組合の問題から芸能問題まで出題され、非常に盛り上がりました。



2日目には、レクとして、パン作り体験を行いました。パンの形にセンスや個性が現れ、笑いながら体験をすることができました。

この2日間を通して、青年の活動について多くの意見を交わすことができ、さらに、支部を越え、交友を深めることもできました。(中部地区担当常任委員)



感想

各支部青年部から活動報告がなされる中で、新しく採用される職員の数が少なく、青年組合員の減少が課題となっている旨の発言がいくつかありました。青年の要求を実現させるためにも青年部の活動がこれ以上縮小、休止しないようにとりくまなければならないと改めて実感しました。本会議は中部地区の青年のとりくみについてお話を聴くことができた貴重な機会となりました。中部地区のみなさま大変お世話になりました。

(事務局次長・北海道地区担当常任委員)

感想

中部青年部長会議に参加し、折々で中部の青年と交流し抱いた感想は、大規模庁の抱える問題(組織率、役員等)、小規模庁の抱える問題(人数減少、人材の流出等)は、中国も抱える問題であり、地連・支部毎の特色、違いはあれど、似ている部分が大いにあるという発見でした。

今回の会議を中国でも活かしていこうと思いますし、また参加された方々の日々の活動の一助になれば幸いです。

2日間、大変充実し、楽しかったです。(中国地区担当常任委員)

労働組合を使おう！

昨年12月17日、近畿地連ウィンタースクールが開校されました。午後半日かけて実施したプログラムは、お招きした豪華講師陣による講義や、青年対策部員らによる劇とそれに係るクイズなど、バラエティ豊かな内容でした。

古田青年協議長からは、「全司法労働組合と青年協議会について」というテーマで講義がありました。



組織図などを駆使した説明は参加したスクール生にも好評で、全司法の組織や青年協議会の存在意義についての理解が深まったとの声が聞こえました。また、議長の「組合に入るだけでなく、組合を利用することが大切」という言葉がとても印象的でした。

もしも全司法がなくなったら……



その後の劇『もう一度……』は、裁判所に労働組合がなくなったと(1)

いう仮定の未来を舞台に、近畿地連書記長の山本省平さんが静かな闘志を胸に秘めた主役を演じる活躍劇でした。さらに、劇で取り上げた問題に関するクイズも出題し、職場における労働組合の重要性をスクール生に感じてもらうことができました。



全司法大運動ってなんだろう？

続くコマでは、大阪支部書記長の山本一樹さんから、全司法大運動についての講義をしていただきました。人気予備校講師のような語りで全司法大運動の重要性を説き、スクール生を魅了していました。



山本一樹大阪支部書記長→

労働組合を学び、利用しよう！

近畿地連ウィンタースクール

クリスマスパーティー☆☆



真剣に学習に取り組んだ後は、会場を移してクリスマスパーティーを開催しました。ビュッフェ形式の料理を囲みながら、スクール生同士の親睦を深めてもらえたと思います。テーブルごとのチーム対抗ゲームや、ビンゴ大会などの余興もあり、大いに盛り上がりました。

企画・運営してくれた近畿地連青年対策部のみんなに、感謝の意を表して、近畿地連ウィンタースクールの報告を締めくくりたいと思います。(近畿地区担当常任委員)



←休憩中の一枚

編集後記 (議長)

近畿地連ウィンタースクールに講師として参加させていただきました。講義では、「全司法を利用してください」とお話ししました。全司法を使おう、という意識を持っていただくと、いろいろな活動が違って見えるかもしれません。

次号予告
中国地連青年部長会議 & 労働学校など